



きね川日記



2018. 2. 28

きね川福祉作業所内の日々の出来事を毎月お伝えします。



かりんととうもろこし

今年度、本格的に着手した自主生産事業のかりんと饅頭ですが、揚げ時間や油切等、製造には試行錯誤の連続でした。原料にもこだわり、餡は北海道産の小豆、皮には沖縄産の黒糖を使用して、国産米油100%で揚げています。検査を経て販売となりました。

9月30日のGENKIまつりで、地域の皆さんにお披露目販売を行いました。おかげさまで、短時間に240個を完売となりました。その後、今後の本格販売に向け、宣伝の為に様々なイベントに参加。当日に製造の揚げたてを販売しました。10月には、ウィメンズパル販売会・ウエルピア出張販売・かつしかスポーツフェスタ・奥戸福祉館・やまもも祭り・くすのき祭りの6ヶ所参加。又、当所の家族会でも販売。合計、約1200個を購入して頂きました。11月には、ウエルピア出張販売・ゴミ減量清掃フェアかつしか・リアン文京お祭り・かつしかボランティアまつりの4ヶ所参加。約900個を販売。12月には、ウエルピア出張販売・区役所販売に参加。GENKI祭りや前回の家族会で召し上がった方から再度購入との声があり、240個の注文を頂きました。合計、600個の販売でした。イベントの販売会には、ご利用者も参加して頂きました。最初は、慣れない環境で多くの人に圧倒されていた方も次第に笑顔や呼び込みの声が出るようになりました。販売会では、ばら売りの他、5個入り袋での販売でしたが、何れのイベントでも5個入り袋の売れ行きが、早かった様です。最初に1個を召し上がり、「味見をしたら、美味しかったから、これはお土産に」との言葉を多く頂きました。5個入り袋はご利用者が、リボンのカット・シールの貼りを行っています。来年度は、販売先の確保の為に営業が重要ですが、製造工程にご利用者が、作業として、より多く関わっていけるよう工夫することが、最も大切だと考えております。(稲留)

